

(19)日本国特許庁(JP)

(12)特許公報(B2)

(11)特許番号
特許第7699321号
(P7699321)

(45)発行日 令和7年6月27日(2025.6.27)

(24)登録日 令和7年6月19日(2025.6.19)

(51)国際特許分類

F I

A 4 5 C 1/02 (2006.01) A 4 5 C 1/02 Z

A 4 5 C 11/18 (2006.01) A 4 5 C 11/18 Z

請求項の数 4 (全11頁)

(21)出願番号	特願2024-107595(P2024-107595)	(73)特許権者	511274662
(22)出願日	令和6年7月3日(2024.7.3)		小堀 香織
(65)公開番号	特開2025-13230(P2025-13230A)		京都府宇治市宇治里尻 2 6 番地の 4
(43)公開日	令和7年1月24日(2025.1.24)	(72)発明者	小堀 香織
審査請求日	令和6年10月16日(2024.10.16)		京都府宇治市宇治里尻 2 6 - 4
(31)優先権主張番号	特願2023-114245(P2023-114245)	審査官	大内 康裕
(32)優先日	令和5年7月12日(2023.7.12)		
(33)優先権主張国・地域又は機関			
	日本国(JP)		
(31)優先権主張番号	特願2023-114254(P2023-114254)		
(32)優先日	令和5年7月12日(2023.7.12)		
(33)優先権主張国・地域又は機関			
	日本国(JP)		
早期審査対象出願			

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 収納具および収納具製造方法

(57)【特許請求の範囲】

【請求項 1】

平面視直角三角形状であり厚さ方向に重ねて配置された 2 N 個（ N は 2 以上の正の整数）の三角片と、平面視矩形状であり前記三角片を厚さ方向から見たときに、直角に隣接する 2 つの辺それぞれに対応する 2 つの隣辺部分のいずれか一方に連続し重畳方向において隣り合う 2 つの三角片同士を接続する接続片と、を有し、重畳方向における両端に位置する三角片以外の三角片は、重畳方向における一方の三角片と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片と前記隣辺部分で前記接続片を介して接続された一对の蛇腹部材と、

前記一对の蛇腹部材がそれぞれ 2 N 個の前記三角片それぞれの前記接続片に連続する隣辺部分が互いに対向する蛇腹部材側とは反対側に位置するように配置された状態で、前記一对の蛇腹部材それぞれの隣り合う 2 つの三角片の間に介在した状態で隣り合う 2 つの三角片に逢着され、隣り合う 2 つの三角片の間に収容領域を形成する少なくとも N 枚のシート部材と、

前記一对の蛇腹部材の並び方向において隣り合う 2 つの三角片同士を連結する連結部材と、を備える、

収納具。

【請求項 2】

板状であり長手方向における中央部の両側を同一方向へ折り曲げられてなる 2 つの外殻片を有する外殻体を更に備え、

2 N 個の前記三角片の重畳方向における両端に位置する三角片は、重畳方向において隣

り合う 1 つの三角片と斜辺部分において連続し且つ前記 2 つの外殻片のいずれか一方に少なくとも隣辺部分で接続されている、

請求項 1 に記載の収納具。

【請求項 3】

前記シート部材は、

矩形シート状であり厚さ方向において重ねて配置される 2 つの主片と、

長尺の矩形シート状であり短手方向における両端縁それぞれの長手方向における全体において前記主片に連続し、短手方向における中央部を通り且つ長手方向に延在する仮想直線で少なくとも長手方向における両端部で 2 つに折り畳まれた状態で、2 つの前記主片それぞれに達着された連結片と、を有する、

10

請求項 1 または 2 に記載の収納具。

【請求項 4】

対向する 2 つの頂部が直角である平面視菱形状または平面視正形状であり、直角の 2 つの頂部を除く 2 つの頂部のうちの隣り合う 2 辺のなす角度が他方で隣り合う 2 辺のなす角度以下である一方が 1 つの基点を圍繞するように配置された複数の四角片部と、前記複数の四角片のうち前記複数の四角片の並び方向における両端それぞれに配置された四角片の一辺に隣片部分が隣り合うように配置された平面視直角三角形の 2 つの三角片部と、平面視矩形状であり対向する 2 辺それぞれにおいて、前記複数の四角片部の並び方向で隣り合う 2 つの四角片部または前記三角片部と前記四角片部とに連続する複数の接続片部と、を有し、蛇腹部材の基となる基材について、複数の前記接続片部それぞれについて前記接続片部の短手方向の中心部を通り且つ前記接続片部の長手方向へ延在する仮想山折り線で山折りにし、複数の前記四角片部それぞれにおける直角の 2 つの頂部を除く 2 つの頂部同士を結ぶ仮想谷折り線で谷折りにすることにより、平面視直角三角形状であり厚さ方向に重ねて配置された $2N$ 個 (N は 2 以上の正の整数) の三角片と、平面視矩形状であり前記三角片の隣辺部分に連続し重畳方向において隣り合う 2 つの三角片同士を接続する接続片と、を有し、重畳方向における両端に位置する三角片以外の三角片は、重畳方向における一方の三角片と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片と隣辺部分で前記接続片を介して接続された一対の蛇腹部材を準備する第 1 工程と、

20

前記一対の蛇腹部材がそれぞれ $2N$ 個の前記三角片それぞれの前記接続片に連続する隣辺部分が互いに対向する蛇腹部材側とは反対側に位置するように配置する第 2 工程と、

30

前記第 2 工程の後、前記一対の蛇腹部材それぞれの隣り合う 2 つの三角片の間に介在した状態で隣り合う 2 つの三角片に N 枚のシート部材それぞれを達着することにより、隣り合う 2 つの三角片の間に収容領域を形成する第 3 工程と、

前記第 3 工程の後、前記一対の蛇腹部材の並び方向において隣り合う 2 つの三角片同士を連結部材で連結する第 4 工程と、を含む、

収納具製造方法。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、収納具および収納具製造方法に関する。

40

【背景技術】

【0002】

折曲げ可能な屈曲部により開閉可能な基台部材を備え、基台部材を折曲げて閉状態となり、基台部材を折曲げ解除して開状態となるカードケースが提案されている (例えば特許文献 1 参照)。このカードケースは、帯状であり、複数の山折部と谷折部とを有し、山折部と谷折部との間に切込部が形成された一対の帯部材を、一方の山折部が他方の谷折部に対向し且つ一方の谷折部が他方の山折部に対向した状態で一方の切込部が他方の切込部に差込まれることで互いに組み合わせることで複数のカード収容部が形成された蛇腹収容体を有する。

【先行技術文献】

50

【特許文献】

【 0 0 0 3 】

【文献】特開 2 0 2 0 - 5 4 6 9 5 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 4 】

ところで、特許文献 1 に記載されたカードケースのような収納具には、少なくとも外側に露出した部分に天然皮革を使用することで高級感のある外観を呈することを特徴とするものがある。このような天然皮革を使った収納具には、高級感のある外観を維持しつつ、使用する天然皮革を極力少なくすることで、収納具全体として軽量化することで利用者の使い勝手を良くすることが要請されている。

10

【 0 0 0 5 】

本発明は、上記事由に鑑みてなされたものであり、高級感のある外観を維持しつつ軽量化を図ることができる収納具および収納具製造方法を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

上記目的を達成するために、本発明に係る収納具は、

平面視直角二等辺三角形形状であり厚さ方向に重ねて配置された $2N$ 個（ N は 2 以上の正の整数）の三角片と、平面視矩形形状であり前記三角片を厚さ方向から見たときに、直角に隣接する 2 つの辺それぞれに対応する 2 つの隣辺部分のいずれか一方に連続し重畳方向において隣り合う 2 つの三角片同士を接続する接続片と、を有し、重畳方向における両端に位置する三角片以外の三角片は、重畳方向における一方の三角片と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片と前記隣辺部分で前記接続片を介して接続された一対の蛇腹部材と、

20

前記一対の蛇腹部材がそれぞれ $2N$ 個の前記三角片それぞれの前記接続片に連続する隣辺部分が互いに対向する蛇腹部材側とは反対側に位置するように配置された状態で、前記一対の蛇腹部材それぞれの隣り合う 2 つの三角片の間に介在した状態で隣り合う 2 つの三角片に達着され、隣り合う 2 つの三角片の間に収容領域を形成する少なくとも N 枚のシート部材と、

前記一対の蛇腹部材の並び方向において隣り合う 2 つの三角片同士を連結する連結部材と、を備える。

30

【発明の効果】

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、高級感のある外観を維持しつつ軽量化を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 0 8 】

【図 1】本発明の実施の形態に係る収納具の概略図である。

【図 2】（A）は実施の形態に係る蛇腹部材を示す斜視図であり、（B）は実施の形態に係るシート部材を示す斜視図である。

【図 3】実施の形態に係る蛇腹部材の基となる基材の平面図である。

【図 4】実施の形態に係る蛇腹部材にシート部材を挿入する様子を示す斜視図である。

40

【図 5】実施の形態に係る蛇腹部材の特徴を説明するための図である。

【図 6】変形例に係る蛇腹部材の基となる基材の平面図である。

【図 7】変形例に係るシート部材を示す斜視図である。

【図 8】変形例に係る収納具の一例を示す写真である。

【発明を実施するための形態】

【 0 0 0 9 】

以下、本発明の一実施の形態に係る収納具について図面を参照して詳細に説明する。本実施の形態に係る収納具は、一対の蛇腹部材と、シート部材と、連結部材と、を備える。一対の蛇腹部材は、それぞれ、平面視直角二等辺三角形形状であり厚さ方向に重ねて配置された $2N$ 個（ N は 2 以上の正の整数）の三角片と、平面視矩形形状であり前記三角片の隣辺

50

部分に連続し重畳方向において隣り合う２つの三角片同士を接続する接続片と、を有する。そして、各蛇腹部材は、三角片の重畳方向における両端に位置する三角片以外の三角片は、重畳方向における一方の三角片と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片と隣辺部分で接続片を介して接続されている。シート部材は、少なくともN枚存在し、一对の蛇腹部材がそれぞれ2N個の三角片それぞれの接続片に連続する隣辺部分が互いに対向する蛇腹部材側とは反対側に位置するように配置された状態で、一对の蛇腹部材それぞれの隣り合う２つの三角片の間に介在した状態で隣り合う２つの三角片に逢着され、隣り合う２つの三角片の間に収容領域を形成している。連結部材は、一对の蛇腹部材の並び方向において隣り合う２つの三角片同士を連結する。

【0010】

図1に示すように、本実施の形態に係る収納具1は、例えば鞆であり、一对の蛇腹部材11と、外殻体12と、シート部材131、132と、連結部材14と、一对の係止金具151、152と、2つの把手16と、を備える。一对の蛇腹部材11は、それぞれ、図2(A)に示すように、平面視直角二等辺三角形状であり厚さ方向に重ねて配置された6枚の三角片111と、平面視矩形状であり三角片111の隣辺部分に連続し重畳方向において隣り合う２つの三角片111同士を接続する6枚の接続片112と、を有する。一对の蛇腹部材11は、例えば天然皮革から形成されている。そして、各蛇腹部材11は、三角片111の重畳方向における両端に位置する三角片111以外の三角片111が、重畳方向における一方の三角片111と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片111と隣辺部分で接続片112を介して接続されている。一对の蛇腹部材11は、それぞれ6枚の三角片111それぞれの接続片112に連続する隣辺部分が互いに対向する蛇腹部材11側とは反対側に位置するように配置されている。一对の蛇腹部材11それぞれの隣り合う２つの三角片の間に収容領域S1が形成されている。

【0011】

外殻体12は、矩形板状であり長手方向における中央部の両側を同一方向へ折り曲げられてなる一对の外殻片121を有する。そして、一对の蛇腹部材11それぞれの6枚の三角片111の重畳方向における両端に位置する三角片111は、重畳方向において隣り合う１つの三角片111と斜辺部分において連続し且つ２つの外殻片121のいずれか一方に少なくとも隣辺部分で接続されている。ここで、一对の蛇腹部材11それぞれの前述の重畳方向における両端に位置する三角片111は、外殻片121の折り返し部分121aにおいて外殻片121に逢着されている。

【0012】

シート部材131は、例えば織物生地から矩形シート状に形成されたものであり、2枚存在する。シート部材131は、一对の蛇腹部材11それぞれの隣り合う２つの三角片111の間に介在した状態で隣り合う２つの三角片111に逢着され、隣り合う２つの三角片の間に収容領域S1を形成している。このシート部材131は、図2(B)に示すように、矩形シート状であり厚さ方向において重ねて配置される２つの主片1311と、長尺の矩形シート状であり短手方向における両端縁それぞれの長手方向における全体において主片1311に連続する連結片1312と、を有する。ここで、連結片1312は、その短手方向における中央部を通り且つ長手方向に延在する仮想直線VL1で少なくとも長手方向における両端部で２つに折り畳まれた状態で、２つの主片1311とともに蛇腹部材11の三角片111に逢着されている。シート部材132は、矩形シート状であり、一对の蛇腹部材11それぞれの前述の重畳方向における両端に位置する三角片111それぞれに接続片112を介して連続する三角片111と外殻体12の外殻片121との間に介在した状態で、当該三角片111と外殻片121とに逢着されている。ここで、シート部材132は、一对の蛇腹部材11それぞれの前述の重畳方向における両端に位置する三角片111とともに外殻片121の折り返し部分121aにおいて外殻片121に逢着されている。

【0013】

連結部材14は、例えば金属板から断面コ字状に折曲された形状を有し、一对の蛇腹部

10

20

30

40

50

材 1 1 の並び方向において隣り合う 2 つの三角片 1 1 1 の頂部同士を連結している。

【 0 0 1 4 】

一对の係止金具 1 5 1、1 5 2 は、それぞれ、外殻体 1 2 の一对の外殻片 1 2 1 それぞれに逢着されている。一对の係止金具 1 5 1、1 5 2 は、一对の外殻片 1 2 1 が閉じた状態において互いに係合した状態となる。把手 1 6 は、一对の外殻片 1 2 1 それぞれに装着されている。ストッパ金具 1 7 は、長尺であり長手方向の両端部それぞれが一对の外殻片 1 2 1 の周部に固定されており、一对の外殻片 1 2 1 の開き角度が予め設定された角度以上となるのを防止している。

【 0 0 1 5 】

次に、本実施の形態に係る収納具 1 の製造方法について説明する。まず、図 3 に示すような蛇腹部材 1 1 の基となる基材 9 1 1 を準備する。この基材 9 1 1 は、例えば天然皮革のシートから切り出すことにより作製する。基材 9 1 1 は、平面視正形状であり、直角の 2 つの頂部の一方の頂部 P 1 が 1 つの基点 P 0 を圍繞するように配置された 2 つの四角片部 9 1 1 3 と、2 つの四角片部 9 1 1 3 の一辺に隣片部分が隣り合うように配置された平面視直角三角形形状の 2 つの三角片部 9 1 1 1 と、平面視矩形形状であり対向する 2 辺それぞれにおいて、隣り合う 2 つの四角片部 9 1 1 3 または三角片部 9 1 1 1 と四角片部 9 1 1 3 とに連続する接続片部 9 1 1 2 と、を有する。

【 0 0 1 6 】

次に、複数の接続片部 9 1 1 2 それぞれについて接続片部 9 1 1 2 の短手方向の中心部を通り且つ接続片部 9 1 1 2 の長手方向へ延在する仮想山折り線 M F L で山折りにし、2 つの四角片部 9 1 1 3 それぞれにおける 2 つの頂部同士を結ぶ仮想谷折り線 V F L で谷折りにすることにより、前述の蛇腹部材 1 1 を 2 つ準備する。続いて、一对の蛇腹部材 1 1 を、それぞれ、図 4 に示すように、三角片 1 1 1 それぞれの接続片 1 1 2 に連続する隣辺部分が互に対向する蛇腹部材 1 1 側とは反対側に位置するように配置する。

【 0 0 1 7 】

その後、図 4 の破線矢印に示すように、シート部材 1 3 1 を一对の蛇腹部材 1 1 それぞれの隣り合う 2 つの三角片 1 1 1 の間に挿入する。そして、シート部材 1 3 1 を一对の蛇腹部材 1 1 それぞれの隣り合う 2 つの三角片 1 1 1 の間に介在させた状態で隣り合う 2 つの三角片 1 1 1 に 2 枚のシート部材 1 3 1 それぞれを逢着する。次に、一对の蛇腹部材 1 1 の並び方向において隣り合う 2 つの三角片 1 1 1 の頂部同士を連結部材 1 4 で連結する。

【 0 0 1 8 】

続いて、蛇腹部材 1 1 およびシート部材 1 3 2 を外殻体 1 2 の一对の外殻片 1 2 1 それぞれに逢着し、係止金具 1 5 1、1 5 2、把手 1 6 およびストッパ金具 1 7 を一对の外殻片 1 2 1 に装着することで、収納具 1 が完成する。

【 0 0 1 9 】

以上説明したように、本実施の形態に係る収納具 1 によれば、高級感のある外観を維持しつつ軽量化を図ることができる。

【 0 0 2 0 】

ところで、内側に 1 つの収納空間内が形成された鞆であって、内壁に小物を収納するためのポケットが縫着された鞆が提供されている。但し、このような鞆の場合、鞆を持ち歩いたときにポケット内の収納物がポケット外に飛び出して鞆の中で混ざり合うと収納物の整理が難しくなる虞がある。また、このような鞆の場合、ポケットの中身も見えづらく、何をどこに入れたのか判りにくくなる虞がある。このため、例えばバッグインバッグなどを用いて鞆の中身を整理する必要がある。これに対して、本実施の形態に係る収納具 1 によれば、中身の収納物を一目瞭然で見渡せて分類して収納することができるので、利用者の利便性を高めることができるという利点がある。

【 0 0 2 1 】

また、従来の蛇腹部材として、例えば平面視長形状の矩形片であって中央部に短手方向の一方の端縁から短手方向における中央部にまでの延在するスリットが形成された一对の矩形片であって、それらのスリット同士が嵌め合わされた一对の矩形片が複数対重ねて

10

20

30

40

50

配置され、各矩形片の長手方向における両端部が重畳方向で隣り合う2つの矩形片のうちの一方の端部に達着された構造を有するものがある。これに対して、本実施の形態に係る収納具1によれば、蛇腹部材11が、三角片111の重畳方向における両端に位置する三角片111以外の三角片111が、重畳方向における一方の三角片111と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片111と隣辺部分で接続片112を介して接続された構造を有している。これにより、前述の従来の蛇腹部材に比べて収納領域S1の開口部分をより大きく開くことができるので、収納領域S1に収納された硬貨、カード等の出し入れが容易になるという利点がある。

【0022】

また、前述の従来の蛇腹部材が、例えば図5に示すように6つの平面視長形状の矩形片991を用いて作製されたとする。そして、この従来の蛇腹部材を用いた収納具と外形寸法が略同じ本実施の形態に係る収納具1を作製する場合、図5に示すように、12組の三角片111と接続片112との組を使用することになる。そうすると、図5に示すように、本実施の形態に係る蛇腹部材11を構成する三角片111および接続片112の作製に必要な基材911の総面積は、従来の蛇腹部材を構成する矩形片991の作製に必要な基材の総面積の約6割程度で済むことが判る。このように、本実施の形態に係る収納具1は、蛇腹部材11の作製に必要な基材911の量を少なくすることで、前述の従来の蛇腹部材を用いた収納具に比べて軽量化されている。

10

【0023】

以上、本発明の実施の形態について説明したが、本発明は前述の実施の形態の構成に限定されるものではない。例えば、蛇腹部材11、外殻体12は、天然皮革で形成されているものに限定されるものではなく、合成皮革等の他の材料から形成されていてもよい。

20

【0024】

また、実施の形態で説明した収納具製造方法では、図6に示すような、2つの四角片部9113と、2つの三角片部9111と、接続片部9112と、を有する基材911を用いる例について説明した。但し、使用する基材の形状は、これに限定されるものではない。例えば図5に示すように、基材2911が、対向する2つの頂部が直角である平面視菱形形状であり、直角の2つの頂部を除く2つの頂部のうちの隣り合う2辺のなす角度が他方で隣り合う2辺のなす角度よりも小さい一方が基点P0を囲繞するように配置された9つの四角片部29113と、9つの四角片部29113のうちこれらの四角片部29113の並び方向における両端それぞれに配置された四角片部29113の一辺に隣片部分が隣り合うように配置された平面視直角三角形形状の2つの三角片部29111と、平面視矩形形状であり対向する2辺それぞれにおいて、四角片部29113の並び方向で隣り合う2つの四角片部29113または三角片部29111と四角片部29113とに連続する10個の接続片部9112と、を有するものであってもよい。

30

【0025】

そして、この基材2911の10個の接続片部9112それぞれについて接続片部9112の短手方向の中心部を通り且つ接続片部9112の長手方向へ延在する仮想山折り線MFLで山折りにし、9つの四角片部29113それぞれにおける直角の2つの頂部を除く2つの頂部同士を結ぶ仮想谷折り線VFLで谷折りにすることにより、平面視直角三角形形状であり厚さ方向に重ねて配置された20個の三角片と、平面視矩形形状であり三角片の隣辺部分に連続し重畳方向において隣り合う2つの三角片同士を接続する接続片と、を有し、重畳方向における両端に位置する三角片以外の三角片は、重畳方向における一方の三角片と斜辺部分で連続し且つ他方の三角片と隣辺部分で接続片を介して接続された蛇腹部材を準備してもよい。

40

【0026】

実施の形態では、シート部材131が、図2(B)に示すように、2つの主片1311と、主片1311に連続する連結片1312と、を有する例について説明した。但し、これに限らず、例えば図7に示すように、シート部材3131が、2つの主片1311の短手方向における同一方向の端部で連続した構造、即ち、平面視矩形形状のシートを辺に沿っ

50

た仮想山折り線で山折りした構造を有するものであってもよい。

【0027】

実施の形態では、収納具1が鞆である例について説明したが、これに限定されるものではなく、同様の構造を有する財布であってもよい。即ち、外殻体12に把手16が装着されておらず、全体として小型化した構造を有するものであってもよい。本変形例に係る収納具としては、例えば図8に示すような財布用途の収納具が挙げられる。或いは、カードケース、化粧ポーチ、ガジェットポーチ等の鞆、財布以外の他の用途の収納物を収納するものであってもよい。

【0028】

ところで、従来の小さな財布は、収納物がピッタリ収まる大きさの収納部を備えたものが多い。ところが、このような財布は、開口部分の面積が狭いため、例えば収納部に収納されたカードを取り出す場合、カードを1枚ずつスライドして取り出す必要があり、利用者がスムーズなカードの出し入れが難しいと感じる虞がある。また、硬貨も同様に一度に出し入れする数が限られるため、利用者がスムーズな硬貨非常に出し入れが難しいと感じる虞もある。特に、紙幣を3つ折りにして収納している場合、紙幣が際巻き上がった状態になりその出し入れが難しくなる虞もある。これに対して、本構成によれば、開くという一つの動作で全ての収納部が連動して立体的に開くので、一目瞭然で硬貨、カード、紙幣の全てを見渡せると共に、紙幣の巻き上がりを防止しつつ紙幣等の出し入れをスムーズに行うことができるという利点がある。

【0029】

図8に示すように、本変形例に係る収納具では、蛇腹部材11の基材の仮想谷折り線VFLおよび接続片部9112の端縁に対応する部分VL4が、収納領域S1の開口部分の左右方向における中央部分の2つの頂点PT、PBと収納領域S1の底側の左右の頂点PR、PLとを結ぶ構造を有する。これにより、収納領域S1の底側を、接続片112と三角片111との境界部分、並びに、隣接する接続片111の境界部分を頂点とする六角形状に広げることができる。また、カード等の板状の物を入れている場合は収納領域S1の開口部分をあまり大きく広げることができないが、硬貨のような比較的小さい物を入れている場合は、2つの頂点PT、PB同士が互いに離れるように大きく開くことで、収納領域S1の深さを比較的浅くすることができる。従って、収納領域S1に収納された硬貨等が取り出し易くなるという利点がある。また、紙幣或いはスマートフォンの収納した場合には、収納領域の幅方向における両端部が紙幣、スマートフォンのストッパとして機能するので、紙幣或いはスマートフォンの収納具からの脱落が抑制されるとともに、収納領域S1の開口部分があまり大きく開かないことで、紙幣、スマートフォンを取り出す際のガイド効果を奏し、紙幣、スマートフォンを取り出し易くなるという利点もある。

【0030】

ところで、従来の財布では、いわゆる肩マチが採用されているが、紙幣を収納した場合、肩マチの内側に折り込まれた部分に紙幣の角部が当たって紙幣の角部が折れてしまう虞があった。これに対して、本変形に係る収納具では、いわゆる肩マチが無い構造でありながら収納領域S1を大きく開くことができるので、紙幣の角部が折れてしまうことを抑制しつつ紙幣の取り出し易さを実現できる。

【0031】

実施の形態では、外殻体12を備えるものについて説明したが、例えば外殻体12を備えず蛇腹部材11と連結部材12とシート部材131のみを備え、蛇腹部材11の複数の三角片のうちの重畳方向における両端の三角片が複数のシート部材131のうちの重畳方向における両端それぞれに配置されたシート部材131に縫着されている収納具であってもよい。この収納具は、例えば既存の鞆、財布等の内部を区分けするためのものとして使用することができる。

【0032】

以上、本発明の各実施の形態および変形例について説明したが、本発明はこれらに限定されるものではない。本発明は、実施の形態及び変形例が適宜組み合わせられたもの、それ

10

20

30

40

50

に適宜変更が加えられたものを含む。

【産業上の利用可能性】

【0033】

本発明は、鞆、財布等の収納具として好適である。

【符号の説明】

【0034】

1：収納具、11：蛇腹部材、12：外殻体、14：連結部材、16：把手、17：スト
ッパ金具、111：三角片、112：接続片、121：外殻片、121a：折り返し部分
、131、132：シート部材、151、152：係止金具、9011：基材、9111
：三角片部、9112：接続片部、9113：四角片部、1311：主片、1312：連
結片、MFL：山折り線、VL1：仮想直線、VFL：谷折り線

10

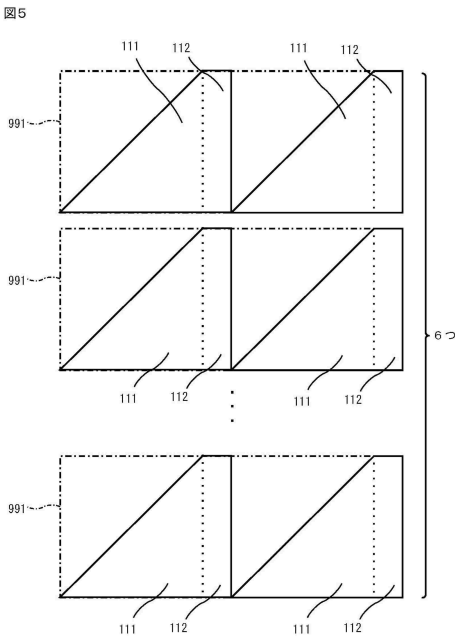
20

30

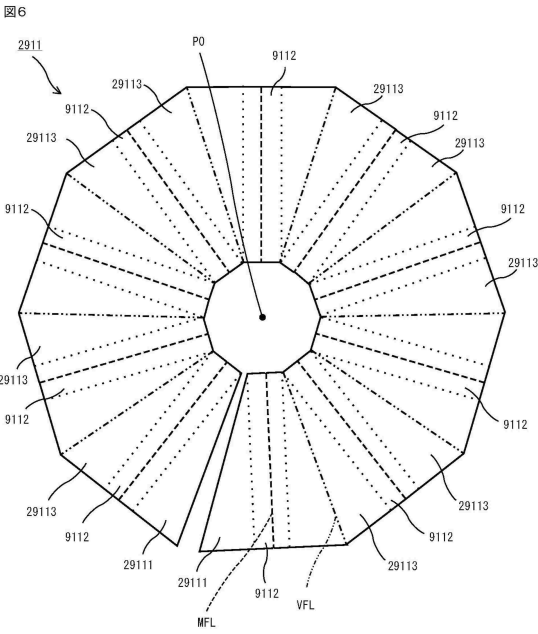
40

50

【図 5】



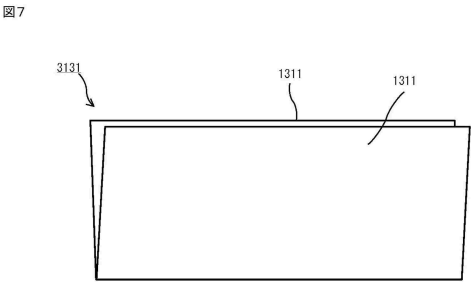
【図 6】



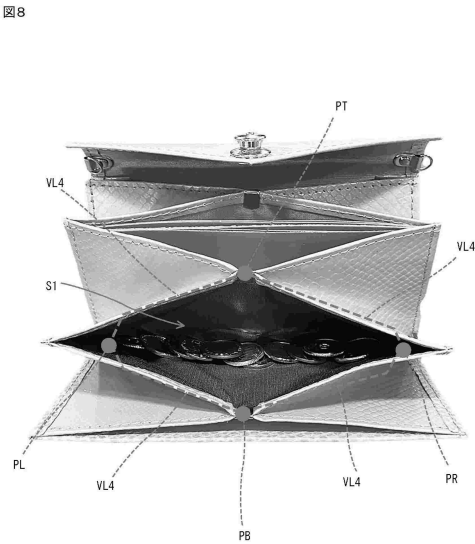
10

20

【図 7】



【図 8】



30

40

50

フロントページの続き

- (56)参考文献 登録実用新案第3223951(JP, U)
特開2009-247385(JP, A)
実開平03-101224(JP, U)
実開昭60-167527(JP, U)
登録実用新案第3159857(JP, U)
特開2010-142400(JP, A)
特開2020-054695(JP, A)
- (58)調査した分野 (Int.Cl., DB名)
A45C 1/00 ~ 5/14
A45C 11/18